

### 実験の高再現性を目指して、より自由に、より使いやすく

本システムは、インキュベーター内に設置した状態で細胞数や密度などの正確な定量データを自動計測し、それらをタブレットやPCからいつでも確認ができ、培養プロセスの品質の最適化だけでなく、作業効率の向上やコストダウンに貢献してきました。今回のセミナーでは、さらに使いやすくなった新機能と、その使用事例についてご説明いたします。



開催日時 2021年9月15日 (水) 13:00～14:00

#### 演題1 細胞培養をよりスマートに —新機能のご紹介—

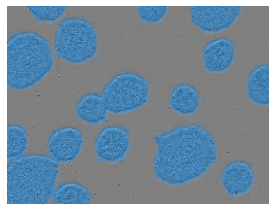
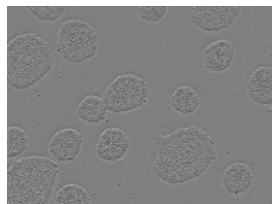
**スピーカー** オリンパス株式会社 ライフサイエンス営業販売促進 横町祐樹

ご要望が多かった、マルチウェルプレート対応の拡大、任意の測定ポイント、フォーカス位置、撮影時間など新たに搭載した機能をご紹介します。また、AIにより細胞とバックグラウンドの違いを学習させることで、コンフルエンスの結果が得られるなどの優れた解析機能などについてもご案内いたします。

#### 演題2 CM20を用いた培養細胞のアッセイ手法 細胞増殖/細胞毒性試験のより簡便かつ正確な測定法を目指して

**スピーカー** 株式会社イーセル 研究主幹 山口 貴大 先生

オリンパスのCM20を用いた細胞増殖・毒性評価の可能性を検証するために、“ヒト肺腺がん A549細胞における抗がん剤(5-FU)による細胞死アッセイ”と“ヒト神経芽細胞腫SH-SY5Y細胞における神経毒(6-OHDA)による細胞死アッセイ”の2つについて、従来法(WST-8)とCM20とを比較した結果をご報告いたします。



参加無料  
事前申込制

本オンラインセミナーへのお申し込みや内容詳細などはこちらから  
(参加費無料・事前申し込み制)

[https://www.sotuu.net/olympus-ls/210915\\_webinar.html](https://www.sotuu.net/olympus-ls/210915_webinar.html)

